

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和元年 10 月 15 日

第 2865 回例会

第 2448 号



豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2019.7~2020.6

会 長 松山辰男
副 会 長 矢野 昭
幹 事 米田 眞
雑誌・広報・会報委員長
佐川正治

国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー
ROTARY CONNECTS THE WORLD

Rotary



本日（10月15日）のプログラム

「ガバナー公式訪問」

国際ロータリー第 2660 地区

ガバナー 四宮 孝郎 様

大阪西南 RC

次回（10月29日）のプログラム

「阪大放射線科学基盤機構の設置と
新規アルファ線治療法開発」

卓話担当：篠原 厚



国際ロータリー第 2660 地区

IM1 組 ガバナー

四宮 孝郎 様

生年月日：1954 年 12 月 9 日

大阪西南 RC 入会日

1993 年 4 月 7 日

職業分類：不動産業

勤 務 先：辰巳工業（株）

代表取締役社長

RI 第 2660 地区

2005~2006 年度 地区幹事

2009~2010 年度 地区代表幹事

2012~2013 年度 R 財団 FVP 副委員長

2013~2014 年度 R 財団地区補助金・

グローバル補助金担当・グループリーダー

2014~2015 年度 R 財団補助金小委員会

委員長

2015~2016 年度 R 財団資金推進小委員会

委員長

経歴

1977 年 神戸大学法学部卒業

1977 年 長瀬産業（株）入社

1982 年 辰巳工業（株）入社

1991 年 辰巳工業（株）代表取締役社長就任

2017 年 現在に至る

ロータリー歴

1993 年 4 月 7 日 大阪西南 RC 入会

1998~1999 年 幹事

1999~2000 年 会計

2006~2007 年 友好担当理事

2011~2012 年 会長

2012~2013 年 直前会長

2016~2017 年 財団担当理事

その他

R 財団 メジャードナー

R 財団 ベネファクター

R 財団 ポール・ハリス・ソサエティー

ロータリー米山記念奨学会

米山功労者 メジャードナー

賞罰

なし

2018 年 8 月末日現在

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内

TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：10 時~16 時（土日祝を除く）

HP アドレス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

☆会長の時間☆

「第4回理事会より」

2019-20年度 会長 松山辰男

- ・ 秋の家族会（職場見学会）11月14日（木）15:00、大阪空港現地集合
出欠確認開始。
- ・ 秋のRYLAセミナー 楊くん、Liさん参加。
ロータリアンは開講式に松山、閉講式に北村参加。
- ・ 米山梅吉記念館訪問 11月30日（土）日帰り。
楊くん参加するので、カウンセラーの宮田幹二会員が同行。
- ・ 新規豊中ロータリークラブ奨学生採用、2019年10月から支給。
YUGOVIANDI PRIMANDA MAMA HIT（ユウギ・ママヒット）
インドネシア、大阪大学大学院理学研究科 化学専攻、博士後期課程
- ・ 豊中ロータリークラブ細則の現状に合わない部分を改定作業中。

・ガバナー公式訪問

日 時：10月15日（火） 本日例会時
場 所：ホテルアイボリー 例会場

※ 10月22日（火）の例会は休会です。

※事務局は10月31日（木）と11月1日（金）はお休み
を頂きました。緊急連絡は会長・幹事までお願いします。

・第5回定例理事会

日 時：11月5日（火） 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー 例会場

・秋のRYLA

日 時：11月2日（土）・3日（日）
4日（振り替え休日）

場 所：サントリー箕面トレーニングセンター
ホスト：大阪南ロータリークラブ

・職場見学と秋の家族会

日 時：11月14日（木） 15:00

見 学 先：伊丹空港

集合場所：伊丹空港1F JAL 出発ロビー前
ご参加の方には地図をお渡しします。

懇 親 会：伊丹空港屋上 於：“ペッパーミル”

・第6回定例理事会

日 時：12月3日（火） 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー 例会場

同 日：年次総会開催

※11月12日は例会変更の為休会です。

・地区大会

日 時：12月13日（金）14日（土）

場 所：本会議（14日）大阪国際会議場

例会出席報告☆

	第2864回	第2861回
例 会 日	10月8日	9月10日
①会員数 A	37	36
（内出席免除者）	6	6
②出席義務者数	31	30
③出席義務者出席数	21	26
④出席免除者出席数	6	4
⑤メイクアップ数		0
⑥出席義務者欠席数	10	4
出席率 %	72.97%	88.24%

出席率（前回）=③+④/②+④ 出席率（前々々回）=③+④+⑤/②+④

○幹事報告○

・国際ロータリー第2660地区より

「クラブ紹介パンフレットのご提供のお願い」が届きました。

「2020-21年度 地区委員会出向者推薦のお願い」が届きました。

「令和元年 台風15号千葉県災害義捐金のお願い」が届きました。

☞ 掲 示 板 ☞

・ガバナー公式訪問事前懇談会

日 時：10月15日（火） 本日 11:20~12:20

場 所：ホテルアイボリー1F 「さくらの間」

○10月8日のゲストとビジター○

- ・楊 馳 君 米山奨学生
- ・Li Ji Yao さん 豊中 RC 奨学生
- ・Yugoviandi Primanda Mamahit 君
豊中 RC 奨学生

✿10月8日のニコニコ✿

- ・結婚記念日祝いを頂いて
中井、森本各会員
- ・中井エンジニアリング (株) 100 周年自祝
中井会員
- ・松本悟会員にお世話になりました。
木村会員
- ・岩本会員にお世話になりました。都井会員
- ・クラブ協議会欠席のお詫び
奈須、谷野各会員

～「MING」プロジェクト～

ゴザ持っておいでよ！

カンボジア クメール舞踊来日ツアー

Host by Toyonaka South RC

10月11日(金) 18:30より豊中南 RC の公開例会として、カンボジアクメール舞踊来日ツアーの皆様がお越しになりその素晴らしい舞踊とカンボジアの伝統文化を披露してくださいました。私達の地域でも未来に残したい伝統文化とは何かということを考えさせられました。当日はワークショップも開催され、カシュナツのバターの試食もありました。

会長：松山辰男



豊中 RC 参加者
会長：松山辰男
会員：木村正治
都井正剛
宮田幹二



♪本日の唱歌♪

汽車

今は山中 今は浜
今は鉄橋渡るぞと
思う間も無くトンネルの
闇をって広野原(ひろのはら)

遠くに見える村の屋根
近くに見える町の軒(のき)
森や林や田や畑
後へ後へと飛んで行く



廻り灯籠の画(え)の様に
変わる景色のおもしろさ
見とれてそれと知らぬ間に
早くも過ぎる幾十里

唱歌担当：都井正剛

唱歌担当：

- ・10月29日 「紅葉」 松尾宗好会員
- ・11月5日 「ローレライ」 森本博明会員

◎親睦委員会受付当番

10月チーフ：佐川会員

10月29日 奈須会員、松本悟会員

◎副幹事・副SAA当番

10月副幹事 豊島了雄 会員

10月副SAA 森本博明 会員



ダンサー紹介
左から
Masha
Srey Leak (S)
Nort
Srey Leak (B)
Nhev

豊中南 RC の会員
の皆様と



「留学生としての今までとこれから」

豊中 RC 奨学生 Li Ji Yao



私は奨学生である自分を振り返り、これからの自分の将来について述べたいと思います。

私は 2010-2014 年に、中国の北京師範大学珠海分校(BNUZ)で広告学を専攻しました。珠海市は中国の一番南の地方にあり、広東省に属しています。北部の河南省出身の私にとっては、とても遠い場所でした。

広告学はかなり学際的な学問で、幅広い知識を学ぶ必要があるため、学部の4年間の大半を学業に費やしました。主に、実際のデザインの技術のほかに、理論の基本となる新聞学、社会学および心理学です。これらはどれも歴史の長い学問で、著作物が数多くあります。私が当時読んだ一番好きな本はドイツの社会学者マックス・ヴェーバーの著書「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」及びジョン・ミルトンの「アレオパジティカ」でした。社会全体を研究対象とする社会学の視点から見ると、個人はその社会のミクロな一部に過ぎず、社会全体への影響は薄く、寧ろ社会によって構築されたと考えていました。しかしこれらの知識を学ぶことによって、一人としての無力さを感じるのではなく、人間と社会の間の複雑な関係を理解することで、より明白な価値観を作ることができ、より賢い考え方が出来るということを知り、それを知った時の嬉しさは今でも鮮明に覚えています。

私は学部生の時、学業に重きを置いていましたが、ボランティア活動にも積極的に参加しました。学部1年生から、SIFE (Students In Free Enterprise、サイフ、現名 Enactus) という学生組織に参加し、珠海市の様々な社会問題の解決に積極的に取り組みました。SIFE は 1975 年に設立された、アメリカ合衆国ミズーリ州に本部を置く NPO 法人です。大学生が企画・実施する社会貢献事業に対する支援を行い、地域密着・社会貢献型ビジネスの実践 (Action) を通じて、学生自身のキャパシティビルディングを実現しています(wiki 参照)。私は学部生の2年間で、1つのプロジェクトのプロジェクトマネージャーを担当し、3つのプロジェクトに主に参加しました。我々は「人に授けるに魚を以ってするは、漁を以ってするに如かず」をモットーに、社会的に弱い立場にいる人達を助け、継続的に支援しました。我々の努力によって、実際の社会問題を解決することが出来で、SIFE BNUZ は最終的に SIFE WORLD CUP でまさるぐらい優秀な成績を獲得しました。

充実した学部での生活を経て、私は最終的に日本へ留学し、研究者となる道を選びました。その動機としては、統計学を研究することに強いやりがいを感じたからです。このような考えに至ったのは、学部生の頃の経験から来ていると思います。広告学では、統計手法を使って消費者データを分析することが頻繁に行われています。私はそのようなデータ分析の基礎となる確率論や数理統計学を学んだ際に、その学問の美しさに魅了され、実世界へ応用するための基盤となる基礎研究に対して強い関心を持つようになりました。統計理論の発展は、現実社会の問題を解決する可能性を秘めており、統計学の研究職は非常にやりがいのある仕事であると考えています。データから有意義な情報を抽出し選択や意思決定に結び付ける方法の重要性は、伝統的な分野でも人工知能(AI)が活用される分野においても、急速に高まっています。今後益々重要になる統計学の発展を私は研究者の立場として支え、自分の力を社会へ還元していきたいと思っています。